

町民の声



議会モニターの皆さまより「議会だより」秋号 VOL.142号のご感想ご意見等をいただきました。これから紙面作りに生かして参ります。ありがとうございました。今回は、「議会だより」をよりよくしていただけた意見・ご感想・ご要望等を掲載させていただきます。

議会報告・意見交換会で議長よりお話し頂いたような、例えば歳入歳出の特筆すべき点の説明があると良いと思います。

縦書き、横書き、多色印刷、フォントサイズの多様、イラスト、写真等、とても見にくいい。

何人の方が、気持ちよく理解してみているのか?これだけの費用(25ページ)をかけるのであれば、町民にアンケート調査をして、改善するべきだ。

山車の壮大さが伺えて大変良いと思う。各議員の質問、解答もわかりやすく、事業会計、補正予算等の表も添付されておりわかりやすく良いと思う。一般質問の政策提案、各議員の質問、答弁で1ページずつ使用しているので大変見やすく内容も分かりやすい。表、写真等の添付がありわかりやすい構成になっていると思う。これからも、見やすくわかりやすい議会だよりの編集宜しくお願ひします。

気になるのは、一般会計決算、特別会計決算、補正予算の記載が離れているところ。各議員が様々な課題について問題提起していて、気づきがありました。表面化していない問題に対しては関心を持たないので、一つのテーマにフォーカスして詳しく解説するコーナーがあるのも良いかと思います。

総括質疑をはじめ縦書き文章が多く、あまり読書習慣の無かった小生には横書き多用の方が目で追い易く読みやすく感じます。

字の大きさや行間も確保され高齢の方への配慮が良いと思いました。写真や挿絵等が多く使われ、重要な部分が強調しており分かりやすい紙面構成です。

編集後記

昭和30年1月1日(土)、旧桑折町・睦合村・伊達崎村・半田村の1町3村が合併し、現在の「新生桑折町」が誕生しました。右の写真は、町制施行70周年記念祝賀イベントの様子です。

この70年を一つの節目として、町政では大きな二つの方針が決定されました。

一つは、半田地区が受け継いできた貴重な財産を未来へ確実につないでいくため、半田財産区議会(管理会)を廃止し、そのすべての財産を町へ無償譲渡することを決定したことです。これにより、令和8年4月1日からは、これらの財産は桑折町民全体の共有財産となります。

もう一つは、町立小中学校5校を統合し、新たに義務教育学校を設置するという政策決定がなされたことです。

これらの決定は、少子高齢化や人口減少、財政制約といった社会環境の急激な変化を踏まえ、桑折町が将来にわたって持続可能で安心できるまちづくりを進めるための重要な基盤整備です。

本年も、まちづくり改革の推進に向けて、広報広聴活動にアグレッシブに取り組んでまいります。

まちの歳時記

— 楽市楽座 —



●広報広聴常任委員会編集委員会

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 佐藤 武朗 委員 斎藤 謙

こおりまち
議会だより

令和8年1月21日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会

電話 024(582)2113
印刷 陽光社印刷株式会社